

## 事前打ち合わせ報告

梶田会長の依頼により「持続的発展のための基礎科学国際年」連絡会議の打ち合わせに向けて以下のメンバー（別紙）が予備的な議論を行いました。

打ち合わせにおいてあがった観点について、以下のように報告します。

### 1. IYBSSD と学術会議の活動

IYBSSD では、持続可能な発展のための基礎科学の役割に世界の注目を集め、基礎科学と政策立案の連携を強化することとされています。また、基礎科学の重要性に対する認識を高めるために、国トップレベルの国際科学会議やイベントをすべての国で開催するとされています。

また IYBSSD の基本的な要素として

- 基礎科学と人間（多文化との対話、そして平和、人材育成、ジェンダー、公平性、多様性、包括性、倫理と人類の発展）
  - 基礎科学とイノベーションと経済、ビッグデータ
  - 基礎科学と健康・生命科学、パンデミック
  - 基礎科学と地球規模の課題、種々の災害、
  - グローバルな公共財としての基礎科学
- があげられている。

### 2 IYBSSD の国内名称の決定について

International Year for Basic Science for Sustainable Development

が正式名称ですが、国内では通常 development は開発と翻訳されていますがより広い内容である「発展」をもちい

「持続可能な発展のための基礎科学国際年」（略称 基礎科学国際年）  
としてはどうか

### 3. 学術会議としての IYBSSD のテーマ案

大テーマ

小テーマをくくるような、学術会議としてのキャッチフレーズがあると良い

小テーマ（案）

- \*好奇心に基づく基礎科学研究の力（持続的発展に寄与してきた基礎科学の過去を振り返る）
- \*科学を伝える活動（新しいメディアを使った科学の伝達、若手の活動など）
- \*ジェンダーギャップ、ダイバーシティ（ダイバーシティ推進の必要性、推進方法）

\*イノベーションと社会へのインパクト(企業、経済等)

\*科学の国際連携

\*基礎科学を発展させるための社会、文化、制度的基盤の構築

#### 4. 学術フォーラムについて

フォーラム・シンポジウムについては各委員会、分科会で開催されるシンポジウムに加えて、連絡会議が提案する学術フォーラムを2のテーマに基づいて複数回行う。学術フォーラムのプログラムを検討するタスクフォースを連絡会議内に形成してはどうか

#### 5. 広報について

ホームページを構築し、学術会議のシンポジウム等を積極的に発信する。IYBSSD の認知度をアップするために、広報委員会に初期ホームページのコンテンツを提供し、その後、関連学協会等の活動を継続的に紹介するための、ワークフローを作る タスクフォースを連絡会議内に形成する必要がある。

#### 6. 学協会、社会、企業への広報

連絡会議を中心として、基礎科学年に関わる行事が行われることの重要性を広報する。連絡会の関係者を中心に学会、研究機関、企業、博物館、学校等に行事を依頼。全体の状況を把握するタスクフォースを連絡会議内に形成してはどうか。また、プレスリリースなどを通じて、マスコミによる積極的な広報と協力を依頼する。